

研究課題名	嵌頓子宮の臨床的特徴と周産期予後についての検討
研究の意義・目的	嵌頓(かんとん)子宮は子宮筋腫や腹腔内癒着などの理由で妊娠子宮の子宮底部が骨盤内に入り込んでしまい、子宮が反った状態で大きくなっていく稀な産科合併症です。嵌頓子宮に対し用手的または腹腔鏡下に整復術を行い、正期産に正常胎児を出産したという報告もありますが、嵌頓子宮に対する確立した管理方法はないのが現状です。本研究は嵌頓子宮合併妊娠における臨床的特徴や周産期予後について、これまでの症例を電子記録からデータを収集して検討を行うことを目的としています。
研究を行う期間	「研究機関の長の研究実施許可日」～2024年12月31日
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2011年4月以降に大阪公立大学医学部附属病院(旧：大阪市立大学医学部附属病院)の産婦人科で、嵌頓子宮に対して周産期管理を行った方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報 等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 ① 患者基本情報：年齢、身長、体重、合併症 ② 周産期事象：妊娠回数、妊娠方法、周産期合併症 ③ 周産期情報：分娩方法、分娩週数、妊娠出産歴、出血量 ④ 新生児情報：出生体重、Apgar score、臍帯動脈血ガス(pH、BE、Glu) ⑤ 嵌頓子宮の診断契機、診断週数、自然整復週数
試料・情報を利用する 者の範囲	この研究は大阪公立大学医学部附属病院産婦人科のみで行います。
試料・情報の管理に ついて責任を有する 者の研究機関の名称	公立大学法人大阪 大阪公立大学医学部附属病院
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 女性生涯医学 (担当者氏名) 栗原 康 電話番号：(06) 6645-3862 メールアドレス： gr-med-obandg@omu.ac.jp